Cコンパイラパッケージ製品の動作環境変更予定のお知らせ

- 過去のお知らせ

2007年1月以降にリリースするCコンパイラパッケージ製品の動作環境の変更予定についてお知らせします。

概要

2007年1月以降にリリースするCコンパイラパッケージ製品の動作環境では、Windows Me、Windows 98、Windows 98SE およびWindows NT 4.0 のサポートを順次終了します。
代わって2007年にリリースされるWindows Vistaのサポートを順次開始する予定です。その詳細は2007年以降にご案内します。
なお、Windows XPおよびWindows 2000については2007年1月以降も引き続き動作環境としてサポートします。

注意事項

(1) 現在リリースされているCコンパイラパッケージ製品の動作環境は変更ありません。
(2) 不具合改修等でリビジョンアップする場合でも、2007年1月以降であれば動作環境はWindows XPおよびWindows 2000のみとなります。
(3) 技術お問い合わせについては、動作環境に関係なく受け付けます。
ただし、Windows Me, 98, 98SEおよびNT 4.0に依存する、あるいは起因する動作不良については回答できない場合があります。
また、Windows Me, 98, 98SEおよびNT 4.0に依存する、あるいは起因する動作不良については改修も行いません。
(4) 2007年1月以降にリリースするCコンパイラパッケージ製品をインストールする際、サポートOS以外（Windows Me, 98, 98SEおよびNT 4.0）の動作環境へはインストールできなくなります。

背景

マイクロソフト社は 2006年7月11日から Windows Me, 98および98SEのサポートをすでに終了しています。
したがって、これらの動作環境においてCコンパイラパッケージ製品の動作に問題があった場合、技術的に原因究明が困難となることが予想されます。
そのため、弊社Cコンパイラパッケージ製品でも、Windows Me, 98, 98SEおよびNT 4.0のサポートを終了し、現在普及しているWindows XP および Windows 2000 と今後ユーザ数が増加するであろうWindows Vista のサポートに重点をおきます。

株式会社 日立超LSIシステムズ

(c) Hitachi ULSI Systems Co., Ltd. 1995,2014. All rights reserved.